



さあ、答え合わせをしよう!

第65週目 行ってみよう～島根県(しまねけん)からの出題

※ココを見てね!▶▶▶行ってみよう～島根県(しまねけん)

1. 古代よりいち早く大陸や北部九州との交流がさかんだった島根県で出土した、膨大(ぼうだい)な量のお宝は?

正解:②銅剣(どうけん)

島根県出雲市(しまねけんいずもし)にある荒神谷遺跡(こうじんだにいせき)は、農道(のうどう)の建設(けんせつ)にともなう調査(ちょうさ)をしたときに、古墳時代(こふんじだい)の須恵器(すえき)の破片(はへん)がみつかった遺跡(いせき)です。これが、のちに歴史(れきし)を揺(ゆ)るがすほどの大発見につながります。この遺跡(いせき)からは、ほかに大量(たいりょう)の青銅器(せいどうき)がみつかりましたが、なかでも銅剣(どうけん)は358本と、他(た)に例(れい)を見ない数で、横向きに、刃(は)を上にして立て、きれいに並べて埋(う)められていました。正解は、②銅剣(どうけん)。1つの遺跡(いせき)に前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)がいくつもみつかった例(れい)はなく、マンモスの骨(ほね)は北海道(ほっかいどう)でしか発見(はっけん)されていません。

2. 39個の銅鐸(どうたく)がみつかった遺跡(いせき)の名前は?

正解:②加茂岩倉遺跡(かもいわくらいせき)

古代より、いまの島根県(しまねけん)にあたる地域(ちいき)では大陸(たいりく)や北部九州などの進(すす)んだ文化(ぶんか)が伝わり、地域(ちいき)の文化にとけこんで、独特(どくとく)な文化をはぐくんできました。(1)の問題と同じく、青銅器(せいどうき)などがたくさん見つかっているのは、海(うみ)の向こうの人たちとの交流(こうりゅう)を活発(かつぱつ)におこなった有力者(ゆうりょくしゃ)がいたことを示(しめ)しています。39個もの銅鐸(どうたく)がみつかったのは、加茂岩倉遺跡(かもいわくらいせき)。正解は②でした。遺跡(いせき)のページも見てみてね。

3. 神原神社古墳から出土した銅鏡(どうきょう)に刻(きざ)まれていた文字は、次のうちどれかな?

正解:②景初三年(けいしよさんねん)

「お宝ベスト5」2つ目を読むと、わかりましたね。正解は②景初三年(けいしよさんねん)。『魏志』倭人伝(ぎしわじんてん)によると、中国・魏(ぎ)の皇帝(こうてい)が卑弥呼(ひみこ)に「銅鏡(どうきょう)百枚」を贈(おく)ったという年なので、卑弥呼(ひみこ)がもらった鏡(かがみ)とも言われています。ちなみに、「建元(けんげん)」はそれよりずっと昔の前漢(ぜんかん)の時代、中国最初の元号(げんごう)です。また、貞元十年(ていげんじゅうねん)は、日本列島(れっとう)では平安京(へいあんきょう)がつけられた794年にあたります。

4. 平所遺跡からみつかった、シカの形象埴輪(けいしょうはにわ)は、その姿(すがた)から何と呼ばれていますか?

正解:②見返りの鹿(みかえりのしか)

「お宝ベスト5」3つ目に写真付きで紹介(しょうかい)されているシカ、顔がかわいい! 正解は①見返りの鹿(みかえりのしか)。浮世絵(うきよえ)では、このポーズの女性(じょせい)の絵を「見返り美人(みかえりびじん)」とよび、「だるまさんが転(ころ)んだ」という遊びの中では、オニはこんなポーズでふりむいて動いた人をアウトにしますね。

5. 岡田山1号墳から出土した銅剣(どうけん)には、人物名が刻(きざ)まれていました。それは、だれ?

正解:②額田部臣(ぬかたべのおみ)

文字を刻(きざ)んだ刀(かたな)は、「銘文入り鉄刀(めいぶんいりてっとう)」とよばれ、名前や年号があると、その情報(じょうほう)をたよりに歴史(れきし)をひもとくことができる貴重(きちょう)な資料(しりょう)です。答えは「お宝ベスト5」4つ目を読みればわかりましたね。正解は②額田部臣(ぬかたべのおみ)。当時の豪族(ごうぞく)です。